

〈令和7年7月22日（火曜日）vol.431〉

~~~~~ トピックス ~~~~~

☆ 食料システム法に関する地方説明会の開催及び参加者の募集について

農林水産省は、食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律（食料システム法）について、生産・加工・流通・販売といった食料システムに関わる皆様に御理解いただくとともに、今後の具体的な施策を検討するにあたり、皆様の御意見をお伺いするため、地方説明会を開催いたします。

（近畿ブロック）

日 時：令和7年8月7日（木）9:30～12:00

場 所：京都 JA ビル地下2階202・203 会議室（京都市南区東九条西山王町1）

〈会場アクセス〉

<https://kyoto-ja-bldg.com/access/>（外部リンク）

開催形式：会場参加（対面）及びオンライン参加（Microsoft Teams）

説明会の概要、議事、参加募集方法等詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/250710.html>（プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/syokuhinkigyo/250716.html>（プレスリリース）

☆ 水田における作付意向について（令和7年産第3回中間的取組状況（6月末時点））

農林水産省では、水田農業に関して産地・生産者が主体的に作付けを判断し、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、きめ細やかな情報提供を行うこととし、その一環として、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会が需給動向や関連対策を踏まえて見込む作付意向を聞き取り、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向（中間的取組状況）を公表しているところです。

この度、都道府県別の6月末時点の作付意向が公表されましたのでお知らせします。

令和6年産実績と比較すると、主食用米の作付けが136.3万ha（対前年差+10.4万ha）

と見込まれており、全国的に増加しています。

主食用米は、増加傾向38県、前年並み7県、減少傾向2県と見込まれています。

地域農業再生協議会別の作付意向等詳細はこちらをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s\\_taisaku/250718.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/250718.html)（プレスリリース）

《 新着情報 》

◇ 米に関するマンスリーレポート（7月号）が公表されました

米に関するマンスリーレポート（令和7年7月号）が公表されましたのでお知らせします。

今月号では、特集記事として「令和7年産水稲の生育状況について（令和7年7月1日報告時点）」「水稲の高温対策について」が掲載されています。

米の価格や在庫量など、米流通等に関する直近の情報がまとめられたこのレポートはこちらからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/250716.html>（プレスリリース）

◇ 令和6年産米の相対取引価格・数量について（令和7年6月）

令和6年産米の相対取引価格・数量（令和7年6月）が公表されましたのでお知らせします。

滋賀県産の主要品種銘柄別データなどの詳細は農林水産省ウェブサイトからご覧ください。

〈全銘柄平均価格・合計数量〉

相対取引価格 27,613 円/玄米 60kg 税込（対前年同期比 174%）

相対取引数量 34,512 玄米トン（対前年同期比 52%）

[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/250716\\_1.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/250716_1.html) (プレスリリース)

◇ 令和7年度「野菜の日」Web シンポジウムの開催について

8月31日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。野菜は豊富な栄養素が含まれ、ビタミン、ミネラル、食物繊維等の重要な供給源ですが、1人1日当たりの野菜摂取量の平均値は256g程度となっており、目標値の350gに届いていません。

農林水産省は、野菜の日に向け、野菜の消費拡大の機運醸成を図るため、改めて野菜摂取の必要性を理解してもらうための基調講演を行うとともに、日頃の食生活に野菜を取り入れてもらうため、野菜の調理・活用方法に精通されている著名人とのトークセッションや現場での消費拡大の取組事例を紹介するWeb シンポジウムを開催します。

開催日時：令和7年8月21日(木) 14時00分～16時15分

開催内容、参加申込方法など、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/250718.html> (プレスリリース)

◇ 食と農をつなぐアワード2025

～食と農をつなぐ優良な取組を行う企業・団体等を表彰します！～

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、食料システムの関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働を促すため、優良な取組を行う企業・団体等を表彰する新たな表彰制度(大臣賞等)「食と農をつなぐアワード」の公募を行っています。

応募内容、応募期間、応募方法等詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250701.html> (プレスリリース)

[https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw\\_connect.html](https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_connect.html) (特設ページ) (外部リンク)

◇ 「令和7年度病害虫発生予報第4号」の発表について

農林水産省から、向こう1か月の主要な病害虫の発生予察として「令和7年度病害虫発生予報第4号」が発表されましたのでお知らせします。

また、滋賀県内の情報として、滋賀県病害虫防除所から7月8日に「病害虫発生予報第6号」、7月17日に「病害虫発生予察注意報第3号」が発表されています。

詳しくはこちらからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250709.html> (プレスリリース)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/> (滋賀県病害虫防除所)

◇ 「令和7年度農山漁村女性活躍表彰」の公募について

「農山漁村女性活躍表彰」は、農林水産業及び農山漁村の活性化、農林水産業経営や政策・方針決定への女性の参画推進、次世代リーダーとなりうる若手女性の農林水産業への参入などの優れた活動を行っている個人や団体の方々を表彰し、女性が農山漁村でいきいきと活躍できる環境をつくり、農林水産業の発展に寄与することを目的としています。周りで活躍する女性農林漁業者をぜひご推薦ください。

応募期間：令和7年7月4日(金)～令和7年9月30日(火)

応募資格、応募方法、募集・開催概要等詳細は、こちらのサイトをご覧ください。

<https://myfarm.co.jp/women/award/> (株式会社マイファーム)

◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

- ・令和6年度大豆供給円滑化推進事業の第2次公募の実施について(7月14日)

詳しくはこちらをご覧ください。

なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載されています。

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html> (補助事業参加者の公募)

## 【審議会・検討会等の開催情報】

- ・第1回環境保全型農業直接支払制度に関する第三者委員会（8月1日）
- ・令和7年度農林水産省政策評価第三者委員会（7月29日）

※ 主な会議等の開催情報としてお知らせしています。

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらからご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html>（会議等の開催情報）

---

## 《 お知らせ 》

### ○ 農林水産省ウェブマガジン aff（あふ）7月号の最新配信のご案内

aff（あふ）2025年7月号の特集は、「土地改良区」です。

第3回の配信は、『水が伝える、豊かな農村空間』と題し、豊かな穀倉地帯として知られる新潟県と愛知県、風土が異なる2つの土地改良区を紹介しています。

aff（あふ）の特集は、毎週水曜日の配信です。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

### ○ 統計公表情報

- ・新たな統計情報はありません

---

## 《 日常的に活用できる情報 》

予算情報    みどりの食料システム戦略    食料・農業・農村基本計画  
補助事業    MAFF アプリ    経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金  
米政策・麦・大豆    野菜・果樹・花き    茶・薬用作物・こんにゃく  
収入保険    有機農業・環境保全型農業    農業生産工程管理（GAP）  
畜産    地域計画    就農情報・農業分野における外国人受入  
スマート農業・農業技術・農業用ドローン    農林水産物・食品の輸出  
インボイス制度    メールマガジン・ソーシャルメディア    農林水産統計  
などのリンク先はこちらからご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113\\_mailmagazine.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html)

---

## 《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

### ◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などもお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更（アドレス等）、配信停止連絡はこちらへ  
e-mail：[kinki\\_mailmaga\\_shiga@maff.go.jp](mailto:kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp)

- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら  
[https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index\\_2012.html](https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html)

### ◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話：077-522-4261

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline\\_shiga2812.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html)

所在地：〒520-0044 滋賀県大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎（6F）

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

---

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。